



2022年7月15日

各 位

会 社 名 テモナ株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐川 隼人
(コード番号：3985 東証プライム市場)
問合せ先 取締役兼執行役員 CFO 重井 孝之
(TEL. 03-6635-6452)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年7月15日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年2月10日に開示した2022年9月期（2021年10月1日～2022年9月30日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2022年9月期連結業績予想数値の修正（2021年10月1日～2022年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	2,394	204	204	133	12.49
今回修正予想（B）	2,301	△169	△184	△150	△14.14
増減額（B－A）	△93	△373	△388	△283	
増減率（％）	△3.9	△182.9	△190.3	△213.2	
（参考）前期個別実績 （2021年9月期）	2,010	458	457	290	9.18

（注）2022年9月期より連結決算に移行しており、前期実績は個別決算の数値です。

また当期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日）等を適用しており、当該基準等を遡って適用した後の数値（非監査）を記載しております。

2. 修正の理由

今回の修正としましては、売上予想数値の修正と投資の継続、及び2022年4月25日に開示いたしました「株式会社サクルの株式取得（子会社化）に関するお知らせ」のとおり、株式会社サクルを連結子会社化したことに伴い、当第3四半期以降の当社連結業績に同社業績が加算されることによるものであります。

①売上高

売上高については、「サブスクストア」のサービス利用アカウント総数の伸び悩みや決済手数料収入の減少による影響（344百万円の減収）及び2022年3月1日付で連結子会社化したAIS株式会社の売上高の伸び悩みによる影響（83百万円の減収）により、前回発表予想から428百万円の減収が見込まれる一方で、株式会社サックルの連結子会社化に伴う業績が加算（334百万円の増収）されることから、売上高は前回発表予想比3.9%減の2,301百万円となる見込みであります。

②営業利益、経常利益、当期純利益

利益項目については、今期に推し進めている事業基盤強化のための人材投資において、採用コストが当初予定額を上回っているもののエンジニア採用については計画人員数が確保できていないことから投資を継続する方針であることによる影響（33百万円の減益）、また、売上高の減収に伴う売上総利益の減少による影響（247百万円の減益）や、株式会社サックルの株式取得関連費用やのれん償却費用等による影響（73百万円の減益）も織り込んだ結果、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも、前回発表予想を大きく下回る見通しとなりました。

この結果、営業利益は前回発表予想比182.9%減の△169百万円、経常利益は同比190.3%減の△184百万円、当期純利益は同比213.2%減の△150百万円となる見込みであります。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上